

令和 2 年 2 月 3 日
札幌管区気象台

令和元年 12 月以降の少雪の状況について

～12 月に引き続き 1 月も北海道地方で記録的な少雪となりました～

令和元年 12 月以降、北海道地方では日本海側を中心に降雪量が記録的に少なくなっています。令和 2 年 1 月の北海道地方の降雪量も、1 月としての最も少ない降雪量の記録を更新しました。

天候の状況

令和元年 12 月の北海道地方（主な 22 地点）の月降雪量平年比は 48%と 1961 年の統計開始以来最も少ない記録を更新しましたが、令和 2 年 1 月も 47%と最も少ない記録を更新しました。また、地域別の 1 月の月降雪量も日本海側では 41%、オホーツク海側では 54%と 1961 年の統計開始以来の最も少ない記録を更新しました。

少雪をもたらした要因(図 1)

- ・日本付近で偏西風（亜熱帯ジェット気流）が北へ蛇行し、日本付近への寒気の南下が弱かったため、冬型の気圧配置が続かなかった。
- ・また、偏西風が日本の東で南へ蛇行したため、発達した低気圧が西・東日本から本州の東を通ることが多く、北海道付近に影響することが少なかった。
- ・1 月を中心に北極付近に寒気が蓄積し、中緯度帯に寒気が流れ込みにくい、正の北極振動となり日本付近に寒気が流れ込みにくかった。

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 担当 川村・桑田
電話 011-611-6174（内線 381） FAX 011-611-3206

表1 2020年1月の降雪の深さの合計と月最深積雪の平年比及び2019年12月の降雪量の深さの合計と平年比

地点名	2020年1月の 降雪量の深さの合計			2020年1月最深積雪			2019年12月の 降雪量の深さの合計		
	実況値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	実況値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	実況値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)
稚内	51)	173	29	21)	63	33	90	160	56
北見枝幸	97	166	58	58	88	66	123	161	76
羽幌	95	198	48	32	85	38	81	172	47
雄武	60)	124	48	45]	57	X	44	113	39
留萌	78	197	40	34	72	47	76	170	45
旭川	90	174	52	51	79	65	110	189	58
網走	60	105	57	26	41	63	19	85	22
小樽	100	194	52	45	94	48	90	156	58
札幌	85	173	49	39	77	51	54	132	41
岩見沢	116	207	56	37	101	37	154	200	77
帯広	42	59	71	41	53	77	17	47	36
釧路	40	44	91	27	25	108	7	27	26
根室	47	62	76	20	20	100	21	36	58
寿都	46	169	27	17	58	29	81	121	67
室蘭	16	65	25	7	19	37	13	38	34
苫小牧	26	39	67	15	21	71	14	27	52
浦河	7	48	15	4	17	24	7	32	22
江差	2	113	2	1	24	4	30	71	42
函館	22	118	19	17	35	49	75	86	87
倶知安	148	291	51	83	155	54	217	252	86
紋別	67	128	52	37	46	80	24	104	23
広尾	65	123	53	52	69	75	10	75	13

※「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

「X」は欠測等の日数が一定の割合を超えたため、平年比を算出しない。

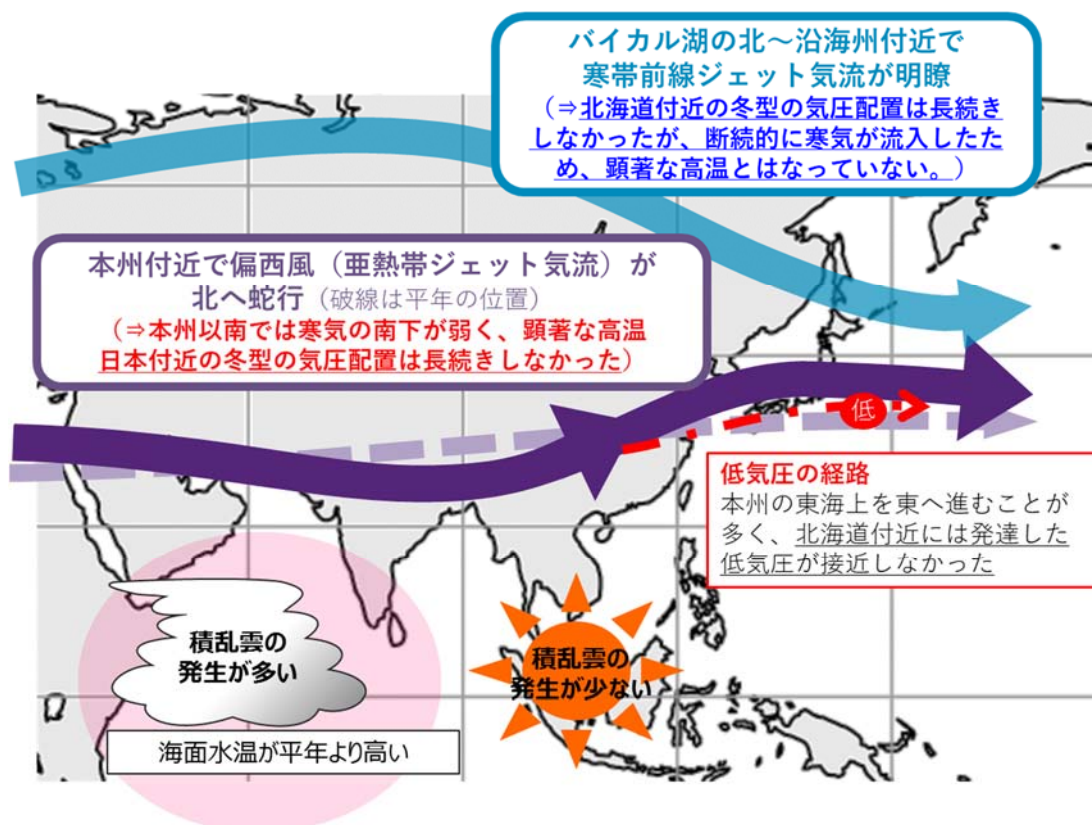


図1 2019年12月以降の平均的な大気の流れに関する模式図